

松蔭高米の重要性PR

12日から オリジナルメニュー販売も

松蔭高校（神戸市灘区）の生徒たちが米食を通じて環境問題を考える「Rice Actionキャンペーン」に取り組む。生徒たちは自給率が高く、水田が多様な生物のすみかともなる米に着目。5日に地元のFMラジオ局に出演して環境問題の重要性を訴

え、12日には米粉を使用したパンなどのオリジナルメニューを神戸市内で販売する。

3年生の有志45人が参加する「Blue Earth Project」が企画した。「Kiss FM K

OB E」で毎週土曜日の午前11時から活動内容などを4週続けて10分間放送する。3年生の町田展子さん(18)は「高校生らしく、楽しくエコをアピールしたい。家族連れの方や同世代にも情報発信をし

たい」と話す。

12日はハーバーランドモザイク（神戸市中央区）で米粉のパン、おにぎりなどを販売。20日には大阪市北区の阪急三番街で、27日には西宮市の阪急西宮ガーデンズでイベントを行う。各会場では旬の食材は、温度調整などのエネルギー消費が少なく栄養価が高い▽輸入では、輸送時に多くの二酸化炭素を排出する▽日本の食品が廃棄される一方で発展途上国では食糧不足に苦しんでいる——などのパネルなど展示する。

また3月には、旬の国産食材にこだわったフルコースメニューがレストランで提供される予定。



環境問題に深い関心を示す松蔭高校の生徒たち
—神戸市灘区の同校で

【大金紗知子】